

NPO 法人での活動を通して何を得たか

活動先：NPO 法人 りんりん

クラス：石川 満 先生

1. 特に印象的だった活動

印象的だった活動は二日目の活動と四日目、最終日の活動です。私は、アルバイトで高齢者の方と関わるアルバイトをしたことがあるのですが、りんりんの様な高齢者と学童が合同の施設は初めてで、初日は本当に何もできず利用者の方から声を掛けてくれた事がとても嬉しくて緊張も和らぎました。

二日目の活動日は一日学童という事で子ども達とずっといたのですが、活動内容がドッチボール大会だったのですが子どもの中にドッチボールの途中で拗ねてやりたくない。と言い出した子がいて、いくら声を掛けてももうやらないと言いつけていた事が印象づいています。その時に、私自身ももっと子どもの楽しめるように配慮していた方が良かったのではないかと感じて、後悔が残りました。

四日目は、機織りをしました。りんりんの利用者の中に機織りをされている方がいて、その日は学童が休みであった為私達の為に機織りの準備をして下さって体験することができました。機織りは、高齢者の方にとっていい身体機能の維持にも繋がりやりがいもありとてもいいと感じました。実際に私も作ったがとても楽しく、いいおもいでになりました。

最終日は沖縄の踊りを披露したのですが、学童の子と高齢者の方が一緒になって踊りを楽しんでくれて本当にやって良かったとおもいました。やる事のほとんどが、初めてでその中でもこの三日間が私の中ではとても印象強く残っています。

2. 活動を通しての気付き・成長

実際に企画を行う上で全ての人に楽しんでもらえる様に動く事は本当に難しい事で、活動を通した上でしか学べないことが多々ありサービスランニングのいい所を感じる事ができた。また、活動の日にちが経つうちにはじめの緊張感がなくなり、私自身のやることは何なのかを自分の肌を通して知ることができました。

また活動の中には、講義では得られない何かがあり、講義だと話を聞きメモを取るだけでイメージはすることが出来るが実際に行動している訳では無いため、実際に動いてみると何にも出来ません。活動をしている中で得る物と講義で得る物は違いがあると感じた。

活動の企画をする上で、無理の無い企画作りが大切だという事に気付きました。利用者には利用者のペースがある為無理やりペースを見出すと疲れる為良くないということにも気付く事ができました。

今回の活動で私の課題にしていたことは全部とはいえませんが達成できたのではないかとおもいます。これから、活かす機会があれば今回の活動のことを思いだしながら動くことができれば良いなと思います。

3. 一年間を通して

授業が始まった当初は NPO 法人に行きボランティア活動をさせて頂いただけだと考えていたのだが、実際は自分達で企画作りをし、利用者の方に楽しんでいただくということが勉強になった。企画を作り始めはどう動いていいかわからずただただ時間だけが過ぎていったのである。だが、グループ内に沖縄出身の子が二人いるということで沖縄の日という企画が案にでたのである。そこで企画について考え、どのようにしたら利用者の方に楽しんで頂けるか考えた。

このように企画の数は少ないが、企画を作り始めた時よりは実行力や行動力がついたのではないかと考える。実際に行うことと、イメージの中で考えることは違うのである。私は実際に企画を行ってみて自分の肌で感じることの大切さについて経験することが出来たのである。

また、石川クラスでは一人ひとり発表を行う機会がたまにあり、授業の始まる前まではなかった発表する力が少しはついたのではないかと思います。活動先との事前連絡等ほとんどが学生だけで動き、行う為色々な面で成長したのではないかと私は思う。

サービラーニングを通し、多くのことについて気づく事が出来たのではないかと考える。サービラーニングという活動があったからこそ私自身多くを学ぶことが出来たのではないかと思います。活動が始まってみると私は何も出来ず、ただ立っただけでしたが、利用者の方から話をかけてくださった時はとても嬉しい気持ちでいっぱいでした。

4. 活動を通して見えてきた地域課題や社会課題

りんりんは施設の大きさでいうとそこまで大規模ではありません。そのため、デイサービスの人数は多くても二十人程度です。小規模であるための強みがあり地域とのつながりが強い面は特徴的ではないかと思えます。また施設内に地域の方がお茶をすることの出来る場所もある為、地域との繋がり強いと思えます。その反面少人数しか受け入れることが出来ない事が課題の一つではないかと思えます。

私は小規模の方が利点が多く利用者にとっても過ごしやすい空間ができるのではないかと思います。過ごしやすい空間が出来るということは、利用者の方からいい評判がでる事でより一層信頼関係が深まるのではないかと思います。そのような面を見るとりんりんはいい大きさで学童との空間も過ごしやすくいい施設後思えます。

提案として、りんりんの利用者、地域の方も参加可能な小さな祭りを施設内でより多く実施する事を提案したい。そうすることで、地域の人にも楽しい施設であることを印象付けることができ、一層関係が強くなるのではないかと思います。私の意見だが、施設の評判とはとても大切なものではないかと考える。それはなぜかという、地域があるから施設を保つことが出来ているのではないかと考えるからである。評判がいいということは、利用者が安心して施設を利用することができるからである。このような点を見ると、施設は地域との関係が重要だと考える。以上の事を提案したい。

5. 来年の後輩へのアドバイス

活動に望む前にある程度の活動先の情報を得ることが大切だと思います。また、企画内容の連絡をしっかりと活動先担当者と取る事はとても大切な事であると思えます。いきなりこういうことやりますと言われても活動先の都合もある為、しっかりと検討しながら企画作りをすることをお勧めします。